

環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山(全国 500 カ所)」に「八千代市ほたるの里」が選ばれました！

ほたるの里だより

八千代市ほたるの里づくり実行委員会 第67号 2022年3月



八千代市内の谷津風景（早春）



※この里だよりは 令和3年度 ちば環境再生基金助成金（県民の活動）を頂き作成しました。

おやこ生き物探検隊～トンボ池の秋の生き物～

講師 福士 融 氏（元高校生物教諭）

11月13日（土）10：20～11：30

参加者：14名（おやこ）

秋のおやこ生き物探検は、トンボ池のかいぼりで捕獲された生き物も見られるということで、かいぼりの活動日に合わせて開催しました。

また、コロナ禍でしたので、里の滞留時間を少なくするためにも、良い機会だと参加を呼びかけました。・・・ところが当日、水を汲みだすポンプに電気が通らず、急遽網ですくって生き物を探すことになりました。

トンボ池、湿地、水路等を、たも網ですくいバケツに入れて、みんなで観察しました。

バケツの中には、ザリガニ、ウシガエルのオタマジャクシ、カダヤシ、ドジョウ、タモロコ、スジエビ、ヨコエビ、ヤゴ、カワニナ、タニシが集まりました。カダヤシとメダカの違い、ヤゴはおそらくシオカラトンボではないか？・・・ということ。トンボ



池にはギンヤンマも飛んでいるので、きっとヤゴもいるのでは？・・・との福士先生のお話でした。

例年のかいぼりでは、タモロコ、カダヤシ、メダカ、タイリクバラタナゴ等の魚も見ることが出来ませんが、今回はポンプの不具合でトンボ池に住んでいる生き物を多く見る事が出来ず残念でした。それでも参加のおやこは、生き物を捕まえて楽しく活動していました。
（文責：広報部）

トンボ池かいぼり

12月11日（土）9：00～11：30 ミズカマキリがいた！



ほたるの里の水循環は、トンボ池に溜った水をポンプアップして滝口から流しています。

滝口から水路を通り湿地を潤しトンボ池へ戻ります。また一部は二つに分かれた水路を通りそのままトンボ池へ戻ります。いずれにしても水は最終のトンボ池に溜ることになりますが、時間の経過と共にトンボ池には砂や泥、ヘドロが溜って行きます。特にヘドロは1年で約20cmほど溜る感じで池の環境維持に悪影響を及ぼしますので、かいぼりをしてヘドロを除去しています。

かいぼりの方法はまずポンプを止め水の流れを停止した後、水中ポンプを入れて池の水を約2時間ほどかけ排水します。

この間に池にいる小魚やオタマジャクシ、水生昆虫等、できる限り捕獲して水槽に保護しておきます。生物はヘドロにまみれるとたちまち弱ってしまうので保護が必要です。ヘドロは大きな柄杓ですくい、バケツに入れて人海戦術で運び出し、あらかじめ掘って置いた穴に投入します。

かいぼりをすると、ヘドロがはね泥だらけになってしまいますが、終わった後の池はすっきりさっぱりとして、とても気持ちの良いものになります。かいぼりの際は多くの生物が観察出来る良い機会になりますので、ほたるの里のイベントとして子どもたちにも公開することにしました。

毎年、生き物の動きが鈍くなる冬場の時期に実施していますので、汚れても良い服装でお出掛け下さい。かいぼり作業、生物観察、休憩時の懇親等、それぞれの楽しみがありますのでぜひご参加下さい。

（文責 深澤 一郎）

ヤマトミクリの里（島田周辺の冬の野鳥調査）

2022年2月17日（木）9：00～12：30

講師：神 伴之氏（自然観察指導員） 参加者：10名

今年で6年目の野鳥調査です。17日は冬晴れの風が強く吹く寒い日でした。

確認出来た鳥は27種。昨年に引き続きチョウゲンボウが確認されました。チョウゲンボウが確認された桑納の田んぼは、チョウゲンボウが冬場に狩りをするのに最適な環境です。広い田んぼがあって、ところどころ休耕地がある。周囲に見張りのできる電柱などがあることなどです。電柱の上にしばらく止まっていたのですが、北へ飛び去りました。

猛禽類は朝か夕方狩りすることが多いのですが、冬場チョウゲンボウは昼間もよく見かけます。チョウゲンボウを見ていると、上空をノスリが帆翔していました。ノスリは狩りではなくのんびりと食後の一休みでしょうか、南へ飛んでいきました。

オオバンは2018年から少なかったのですが、今年はたくさん見られました。新川ではあまり固まらず30～40羽の群れがあちこちに分散していて、土手や桑納川にも群れていました。

久しぶりにコガモの群れがいました。新川は岸からいきなり深いのでカルガモやマガモなど浅いところで採食するカモは少ない傾向にあります。コガモも同じく浅いところで採食しますが、新川では今年を含めると、4回確認されました。カモの仲間は越冬地でカップルを形成することが多く、コガモは広い水面で集団見合いをしようとしていたのかもしれませんが、雄が鳴いていたので、ディスプレイをしようとしていたのかもしれませんが。カルガモやマガモは♂♀ほとんど同じ鳴き方ですが、コガモやヒドリガモ、オナガガモなどは雄がきれいな声で鳴きます。

コサギが新川の対岸の左岸に上流から飛んできて降りました。コサギも浅い水辺で採食します。左岸には浅いところが一部残っているのかもしれませんが。また、カンムリカイツブリが多く、カイツブリが少ないのはカイツブリが隠れるようなヨシが少ないからではないかと思います。

カンムリカイツブリは印旛沼など広い水面を好みますので、新川は居心地がいいのかもかもしれません。カイツブリより多く現れます。

むつみの森は明るい落葉樹の森と下刈りの行き届いた針葉樹の森があり絶好の環境で、カケス、エナガ、ウグイス、シロハラ、ヒヨドリなどが観察できました。シジュウカラやメジロなど普通種は声も聞かれませんでした。ルリビタキやミソザイなどもほとんど毎日確認出来るそうですが、今回は現れませんでした。

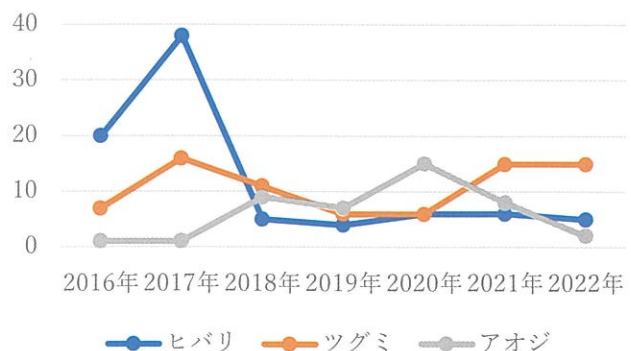
観察ルートですが、新川から回るとむつみの森は午前中でも遅い時間になってしまうので、鳥たちが休んでしまうのかもしれませんが。回り方は悩ましいところです。

今年北総一帯は小鳥の冬鳥が少ない傾向にあります。今回の調査でもアオジが少なく、シメ、カシラダカなども確認出来ませんでした。アオジは島田谷津ではゼロでした。去年現れたホオジロが確認出来なかったのは残念でした。桑納の田んぼではヒバリ、タヒバリの少ない傾向は続いています。ツグミとスズメはまあまあの数が確認出来ました。（文責：神 伴之）



←アオジ

島田谷津周辺のヒバリ・ツグミ・アオジの経年変化



里の整備作業（10月・11月・12月）・・・with コロナ対策他（中止：1月・2月）



10月（湿地草刈り）



12月かいぼり



2月冬のほたるの里

ほたるの里へ応援メッセージ

石井食品（株）さまより

ザリガニ釣り大会等のイベントは、多くの方にほたるの里の魅力が伝わる機会と考えており、微力ながら例年商品の協賛をさせて頂いております。

家族や友人と、ほたるの里で植物や生き物に触れ合い過ごした楽しい時間が、環境保全へ興味を持つきっかけになることを願っております。



令和3年度調査記録

《ヒメコマツ》（調査日 10月1日例年）
 (No12) 134cm (R3年) ←108cm/R2年
 (No13) 123cm (R3年) ←99cm/R2年
 《ザリガニ捕獲》
 4,082匹 (R3年) ←6,486匹/R2年
 《ニホンアカガエル卵塊》

36個
 (R4年2月)
 ↑
 (R3年2月)
 33個



第25回総会ご案内
 八千代市ほたるの里づくり実行委員会

日時：4月9日(土)
 9:30～10:30
 場所：やちよ農業交流センター
 第1・2研修室（島田2076）
 内容：
 ・令和3年度の事業報告と会計報告
 ・令和4年度の活動予定と予算
 ※総会終了後、新川（逆さ水橋）～阿蘇地域～米本～交流センター（自然・歴史ウォーキング 約2時間）

・・ホタルメイト募集中・・

●年会費（4月～翌年3月）

※登録期間は1年間。

個人 1世帯1,000円

市民団体・事業所 1口2,000円

詳しくは、事務局までお問い合わせください。

[ほたるの里 連絡先]

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5

八千代市環境政策室 内

Tel : 047-421-6767

E-mail : kankyou1@city.yachiyo.chiba.jp

<http://www.city.yachiyo.chiba.jp/123508/page000009.html>

<http://genki365.net/gnky/mypage/index.php?gid=G0000043>

[編集] 広報部会・事務局